

# 小島忠義の 議会通信

# “かけ橋”

No.24



合併して誕生した糸島市も丸3年が経過しました。人口減少時代に突入し、少子高齢化のスピードは予測を超えて進行しています。

庁舎建て替えに関する議論も現在の建物をリフォームして使用可能かどうかの対応も含め、検討が本格化している所です。

財政の健全化、地域産業の活性化、総合運動公園の建設、災害に強い安全・安心なまちづくり等など多くの課題を抱えているものの

**糸島ブランドが広まり定着しつつある**という喜ばしい面もあります。

去年より今年が1つでも2つでも良くなるための方策を研究し、行政側に提案して行きます。今年もよろしくお願いいたします。

## ≡≡≡ 国に頼りすぎない糸島市にするために! ≡≡≡

糸島市の大きな弱点の一つは**自主財源が少ない**ことです。自主財源が全歳入に占める割合は全国平均が48.3%であるのに対して糸島市は36.8%と低く歳入の多くを地方交付税等の国からの仕送りに頼っているのが現状です。この自主財源の増加策が他の問題も同時に解消してゆくものと考えます。自主財源とは家庭で言うところの給料であり収入に相当します。

市役所の収入は地方税すなわち市民の方が支払われる税金(市民税、固定資産税等)がそのほとんどです。

この自主財源を増やすため全国の自治体はしのぎを削り競って企業誘致活動を行ってきました。

その甲斐あって前原インター近くを開発した産業団地には7社の企業が進出し、新たな雇用も生まれ市の計画通りに事業は進みました。

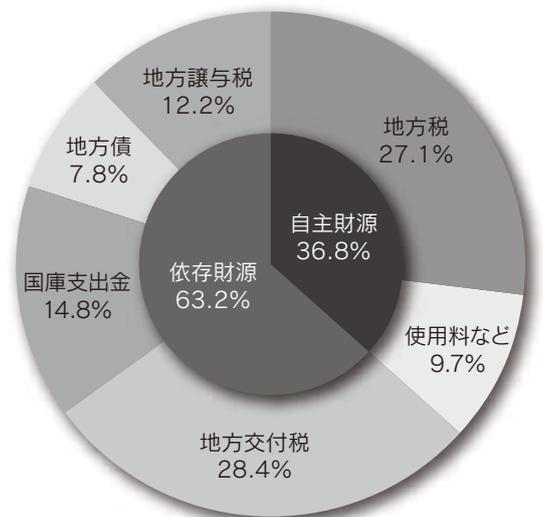
しかしこれからは日本国内外の実情から判断すると新たな企業誘致は容易な事ではありません。

自主財源を増やすための方策としては地域に活力を与える**地元産業の振興策**が必要不可欠でありこれをおいて他にないと考えています。

地域資源豊富な糸島市を観光産業で活性化するのが私の考えです。

12月議会の一般質問で私の構想を提案しましたので報告します。

糸島市 H.22年度 歳入内訳



# 一般質問

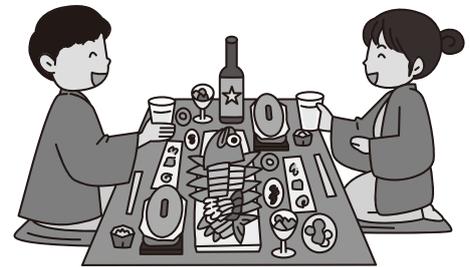
**Q1** 全歳入の60%以上を占める国からの仕送り金(地方交付税など)は年々減るばかり。

一方歳出の方は医療費や生活保護費等の支出は右肩上がりが増える現状を踏まえ、市はどのような対策を考えているのか。

**A1** 税収を増やすために産業振興策が必要でありそのために

- 1.既存産業の活性化
- 2.企業誘致
- 3.新しい産業として観光産業
- 4.6次産業等の推進

が必要だと考えている。



**Q2** 糸島市への観光客数は年間約450万人  
その内宿泊客数は約37,000人。

その宿泊客数を10万人に増やすことが出来れば立派な産業として成り立ち、働く場の増加につながると思われるが市の考えを伺いたい。

**A2** ご指摘のように観光産業が糸島市の主産業の1つになり得るとの認識を持っている。宿泊客数を10万、日帰り客を450万人と想定すると経済効果として100億円のお金が市内で消費される予測が立つ。

農業生産額が年間約160億円なので観光産業も市の有望な産業の1つとして育ててゆきたい。

**Q3** 宿泊客数を増やすための受け皿として市内に600軒以上ある空家を活用して**農家民泊**としての再利用出来れば糸島市の新たな魅力になると思うがその可能性はあるのか伺う。

**A3** 市は現在九大と連携して「糸島空家プロジェクト」を推進している。農家民泊として空家を再利用することは新しい発想であり研究を重ね実現に向けての方策を練ってみたい。



**Q4** 地域資源に恵まれた糸島市ならではの**観光体験メニュー**がいろいろ考えられる。

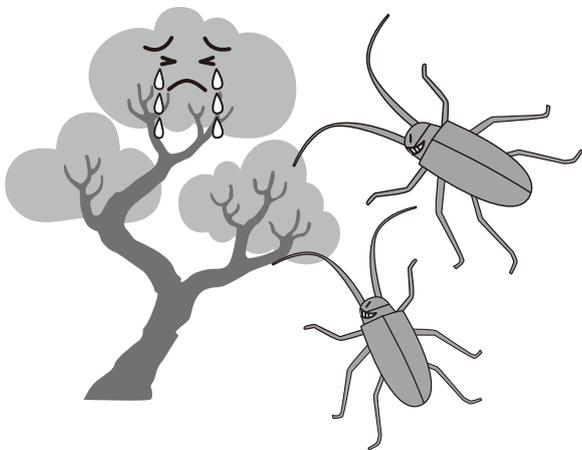
例えば農漁業での収穫体験、マラソン、サイクリング、山登り等のイベント開催によるスポーツ体験、工芸家を訪ねてのモノ作り体験、歴史文化遺産を訪ね廻るカルチャー体験等々。海あり山あり田園ありの糸島市は他に類をみない観光資源の宝庫である。糸島市の活性化のための大きな武器になり得ると思うが市はどのような考えを持っているのか伺う。



**A4** 10年後の糸島市を考える時、地域資源を活用した**体験型観光の推進**は非常に重要であると認識している。

実現のため市民の力と知恵を十分活かし協働の精神で住みよい町糸島作りに頑張っ  
てゆきたい。

## 深刻です！海岸線の松枯れ被害



糸島市の海岸は白砂青松の場所として素晴らしい景観を誇っていましたが数年前より松くい虫による被害で多数の松がまるで紅葉しているかのように葉が茶褐色になり枯れています。

志摩の芥屋一帯の海岸が特にひどい状態です。原因は松枯れを起こすマツノザイセンチュウがマツノマダラカミキリの体内に寄生しカミキリが元気な松の間を移動するのに便乗してカミキリがつけたかみ傷から松の中に入り松枯れを起こさせるものです。

対策はカミキリを殺すための薬剤散布と松枯れした松を伐倒駆除し枯れた場所への新たな苗木の植林が考えられますが以前のような素晴らしい景観の復元には長い時間がかかります。

確認されただけで約20,000本の立枯れした松を切り倒し焼却処分するための費用として約3,800万の税金が投入されています。

誇れる景観を守り継いでいくためには必要な対策ですが、**アリの一穴**の諺にもあるように最初は小さな被害だった問題でも、対応を誤れば大事に至ります。議員として小さな変化も見逃さない鋭い目で行政をチェックしていく重要性を再認識しております。

# 絶対ダメ! 飲酒運転

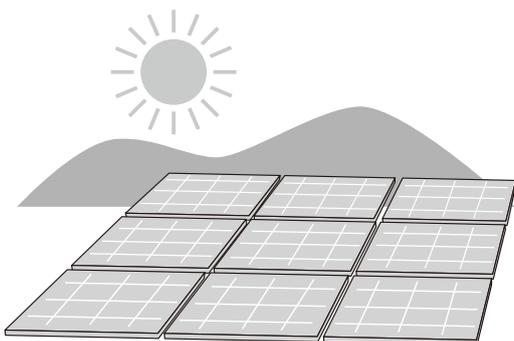
事故を起こせば本人はもちろんの事、家族や被害者も巻き込み悲惨な事になる飲酒運転事故が絶えません。一人一人の自覚が基本ですが周りももっと厳しい目を持つ必要があります。今年はこの汚名挽回の年にしましょう。

## 糸島市内の飲酒運転事故・検挙の実態

年度	福岡県			糸島市			
	事故件数	全国順位	死亡者数	事故件数	県内順位	死亡者数	検挙者数
H22	337件	全国1位	9件	8件	県内4位	0件	31件
H23	257件	全国2位	8件	10件	県内2位	1件	43件
H24	144件	全国7位	5件	3件	県内6位	0件	16件



## 糸島市にもメガソーラーが設置されます



再生可能エネルギーの1つである太陽光を利用したメガソーラーが糸島市加布里地区に設置されることになりました。規模は1,200kw程度の太陽光発電設備と自然エネルギーに関する学習・研修等ができる施設を併設する予定になっています。一般家庭の約350世帯分を賄うクリーンな電力を発電する他に糸島市には固定資産税として年間約150万が入る予定です。

## ご存知ですか? 選挙費用こんなにかかります

今回実施された衆院選挙の投票率は戦後最低の59.32%と低い数字でした。選挙には立候補者本人が負担する費用以外に多額の税金が使われている事をご存知でしょうか?

衆院選挙には何と約625億もの費用が税金から使われました。定数が小選挙区、比例区合わせて480人ですから1人の国会議員を選ぶのに約1億3千万かかった計算になります。

ちなみに糸島市長・市議会議員選挙には約4,000万の公費がかかります。大切な一票、棄権などせずに投票しましょう。



**小島忠義事務所** TEL.092-322-0155 携帯:090-7441-9689

〒819-1112 糸島市浦志2-5-20 FAX:092-322-4900  
E-mail:info@kojima-tadayoshi.com HP:http://www.kojima-tadayoshi.com